

2023年度 一般選抜 学力検査

日本史 B

解答番号 ~

【1】 古代から現代に至る日本の歴史書について述べた次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(配点36点)

政治制度の整備と中央集権化の進展を背景に国家意識が高まると、政府は国史編纂事業を行なった。

7世紀前半、厩戸王（聖徳太子）・^(a)蘇我馬子らによって が編纂されたという。伝存するものとしては^(b)712年に『古事記』が、さらに720年には初の官撰正史である『日本書紀』が完成した。以後、901年に成立した までの6つの官撰正史は^(c)六国史と称される。

平安時代中期に藤原実頼・大江朝綱らによって『新国史』が、院政期に鳥羽上皇の命を受けた^(d)藤原通憲らによって『本朝世紀』が編まれたが、ともに未完に終わった。朝廷による国史編纂事業が途絶えた一方で、^(e)院政期には歴史物語が盛んに書かれている。

鎌倉時代にも朝廷による国史編纂事業は行われなかったが、武家政権は幕府の歴史を叙述した『吾妻鏡』を編纂した。これに対して、慈円は衰えゆく公家出身者の立場から^(f)『愚管抄』を著した。また、虎関師錬は日本初の仏教史である を完成させている。

室町時代には、^(g)南北朝の対立を背景に南朝・北朝それぞれの立場から歴史書や軍記物語がつくられた。このほか、^(h)瑞溪周鳳は15世紀後半までの外交に関する文書を にまとめた。

江戸時代には⁽ⁱ⁾儒学が発達し、歴史への関心が高まった。前期には、幕府の命を受けた林羅山・鷲峰父子が を編纂したほか、^(j)水戸藩で歴史書『大日本史』の編纂が開始された。中期には、朱子学者で將軍侍講であった^(k)新井白石が、『古史通』や^(l)『読史余論』などで独自の史観を展開した。後期には尊王論を説いたことでも知られる頼山陽が『日本外史』を著し、幕末の尊王攘夷の志士らに影響を与えた。

明治になるとその初期には啓蒙思想家の^(m)福沢諭吉が『文明論之概略』を、 が『日本開化小史』を刊行した。ともに文明史観に立脚するものであった。1895年には帝国大学文科大学に史料編纂掛が置かれ、『大日本史料』など日本史の

基礎史料の編纂が始まった。その事業は東京大学史料編纂所に移行して現在も進められている。

大正時代には **キ** が『古事記』・『日本書紀』の文献学的研究を行なって『神代史の研究』などを著したが、日中戦争中の1940年に著書の発禁処分を受けた。

問1 下線部(a)の蘇我馬子やまとのあやのあたひこまが東漢直駒を用いて暗殺させた天皇の諡号(おくりな)として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**1**。

- ① 欽明天皇 ② 継体天皇 ③ 崇峻天皇 ④ 敏達天皇

問2 空欄アに入る書名の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥の中から一つ選びなさい。解答番号は、**2**。

- ① 『旧辞』・『国記』 ② 『旧辞』・『帝紀』 ③ 『旧辞』・『天皇記』
④ 『国記』・『帝紀』 ⑤ 『国記』・『天皇記』 ⑥ 『帝紀』・『天皇記』

問3 下線部(b)に関連して、『古事記』・『日本書紀』完成へと至る国史編纂事業を7世紀後半に始めた天皇の諡号(おくりな)として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**3**。

- ① 持統天皇 ② 天智天皇 ③ 天武天皇 ④ 文武天皇

問4 空欄イに入る書名として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**4**。

- ① 『続日本紀』 ② 『続日本後紀』
③ 『日本三代実録』 ④ 『日本文徳天皇実録』

問5 下線部(c)の六国史の記事を事項別に分類するなどして編纂した菅原道真の歴史書として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、5。

- ① 『菅家文草』 ② 『経国集』 ③ 『類聚国史』 ④ 『倭名類聚抄』

問6 下線部(d)の藤原通憲が自害に追い込まれた事件として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、6。

- ① 平忠常の乱 ② 平治の乱 ③ 保元の乱 ④ 源義親の乱

問7 下線部(e)に関連して、院政期の文学作品について述べた文として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、7。

- ① 院政初期の動乱を記した『将門記』は、最初の合戦記とされる。
② 後三年合戦を題材として『陸奥話記』が著された。
③ 平氏一門の興亡を中心に描いた『平家物語』が著された。
④ 藤原道長の栄華を批判的に記した『大鏡』が著された。

問8 下線部(f)に関連して、次の史料は『愚管抄』の一部である。史料中の空欄Aに入る語句として正しいものを、下の①～⑧の中から一つ選びなさい。解答番号は、

8。

年ニソヘ日ニソヘテハ、物ノ **A** ヲノミ思ツヅケテ、老ノネザメヲモ
 ナグサメツ、イトゞ、年モカタブキマカルマ、ニ、世中モヒサシクミテ侍レバ、
 昔ヨリウツリマカル **A** モアハレニオボエテ、……保元以後ノコトハミナ乱
 世ニテ侍レバ、……マコトニイハレテノミ覺ユルヲ、カクハ人ノオモハデ、
A ニソムク心ノミアリテ、イトゞ世モミダレヲダシカラヌコトニテノミ侍
 レ……

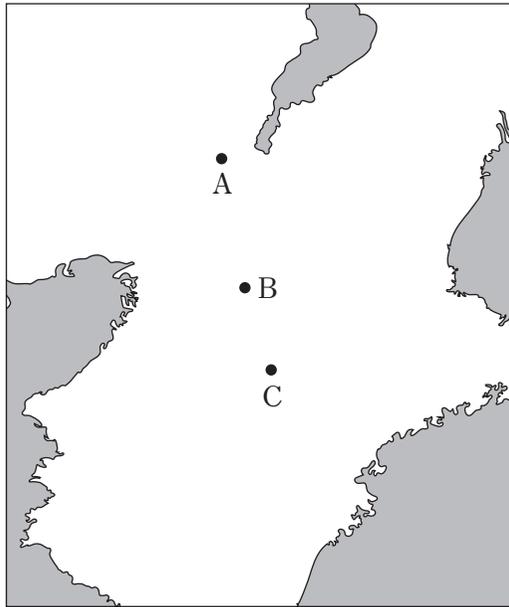
- | | | | |
|------|------|------|------|
| ① 往生 | ② 他力 | ③ 道理 | ④ 無常 |
| ⑤ 末法 | ⑥ 憐愍 | ⑦ 哀惜 | ⑧ 盛衰 |

問9 空欄ウ・オに入る書名の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥の中から一つ選びなさい。解答番号は、**9**。

- | | |
|-----------|---------|
| ① ウ『元亨釈書』 | オ『資治通鑑』 |
| ② ウ『元亨釈書』 | オ『本朝通鑑』 |
| ③ ウ『十訓抄』 | オ『資治通鑑』 |
| ④ ウ『十訓抄』 | オ『本朝通鑑』 |
| ⑤ ウ『沙石集』 | オ『資治通鑑』 |
| ⑥ ウ『沙石集』 | オ『本朝通鑑』 |

問10 下線部(g)に関連して、南北朝の動乱について書かれた書物と、その書物が支持する朝廷の、動乱時の所在地を示した下の地図中の場所の組み合わせとして適切なものを、次の①～⑥の中から一つ選びなさい。解答番号は、10。

- ① 『神皇正統記』－A 『梅松論』－B
- ② 『神皇正統記』－A 『梅松論』－C
- ③ 『神皇正統記』－B 『梅松論』－A
- ④ 『神皇正統記』－B 『梅松論』－C
- ⑤ 『神皇正統記』－C 『梅松論』－A
- ⑥ 『神皇正統記』－C 『梅松論』－B



問11 下線部(h)の瑞溪周鳳が住持となった京都五山第2位の寺院として正しいものを、次の①～⑥の中から一つ選びなさい。解答番号は、11。

- ① 南禅寺
- ② 相国寺
- ③ 天龍寺
- ④ 慈照寺
- ⑤ 神護寺
- ⑥ 東寺

問12 空欄エに入る書名として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

解答番号は、12。

- ① 交隣提醒 ② 通信全覧 ③ 中朝事実 ④ 善隣国宝記

問13 下線部(i)に関連して、江戸時代の儒学者について述べた文として正しいものを、

次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、13。

- ① 南学から出た山崎闇斎は、加賀藩主の前田綱紀に招かれた。
② 陽明学を学んだ熊沢蕃山は、岡山に閑谷学校を設けた。
③ 柳沢吉保に仕えた荻生徂徠は、徳川綱吉に著書『政談』を献じた。
④ 大坂町人の出資で設立された懐徳堂は、『夢の代』を著した山片蟠桃らを輩出した。

問14 下線部(j)に関連して、水戸藩における学問の発達について述べた文として誤っ

ているものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、14。

- ① 徳川光圀は江戸の藩邸に弘道館を設けて、『大日本史』の編纂を始めた。
② 『大日本史』の編纂過程で、大義名分論に基づく尊王論が形成された。
③ 後期水戸学では、藤田幽谷・東湖父子、会沢安（正志斎）らが活躍した。
④ 水戸学の尊王論は幕末の尊王攘夷論の理論的根拠となった。

問15 下線部(k)の新井白石がイタリア人宣教師シドッチを尋問した内容を記した著書

として正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、15。

- ① 『紅毛談』 ② 『折たく柴の記』 ③ 『華夷通商考』
④ 『西洋紀聞』 ⑤ 『日本誌』

問16 下線部(l)の『読史余論』にみられる記述として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**16**。

- ① 本朝、天下の大勢、九変して武家の代となり、武家の代また五変して当代におよぶ総論の事。
- ② 其れ万機の巨細、百官己に総べ、皆太政大臣に関白し、然る後に奏下すること一に旧事の如くせよ。
- ③ 在位ノ君又位ニソナハリ給ヘルバカリナリ。世ノ末ニナレルスガタナルベキニヤ。
- ④ 古の興廢を改て、今の例は昔の新儀也。朕が新儀は未来の先例たるべしとて、新なる勅裁漸々きこえけり。

問17 下線部(m)の福沢諭吉について述べた文として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**17**。

- ① 改税約書調印のために派遣された遣米使節に随行して、咸臨丸で渡米した。
- ② 学制が制定されたことを機に、英学などを教える慶応義塾を設置した。
- ③ 日刊新聞『時事新報』を創刊し、民撰議院設立の建白書を掲載した。
- ④ 甲申事変後、欧米列強と行動をともにするべきとする「脱亜論」を発表した。

問18 空欄カ・キに入る人名の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑨の中から一つ選びなさい。解答番号は、**18**。

- | | | | | | | | | | |
|---|---|------|---|-------|---|---|------|---|-------|
| ① | カ | 久米邦武 | キ | 津田左右吉 | ② | カ | 久米邦武 | キ | 和辻哲郎 |
| ③ | カ | 久米邦武 | キ | 柳田国男 | ④ | カ | 田口卯吉 | キ | 津田左右吉 |
| ⑤ | カ | 田口卯吉 | キ | 和辻哲郎 | ⑥ | カ | 田口卯吉 | キ | 柳田国男 |
| ⑦ | カ | 徳富蘇峰 | キ | 津田左右吉 | ⑧ | カ | 徳富蘇峰 | キ | 和辻哲郎 |
| ⑨ | カ | 徳富蘇峰 | キ | 柳田国男 | | | | | |

【2】 古代の東アジアの交流について述べた次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

(配点14点)

6世紀末に中国を統一した隋が **ア** との対立を深めるなど、東アジア情勢が緊張するなかで、607年、遣隋使小野妹子が派遣された。この遣使は隋の皇帝 **イ** から無礼であるとの不興を買ったが、妹子は翌年隋使の裴世清を帯同して帰国した。608年には裴世清の送使として小野妹子が再び隋に派遣された。^(a) このとき、のちに中央集権国家形成の理論的指導者となる留学生や僧を伴っていた。

614年に遣隋使として派遣された **ウ** は、630年の第1回遣唐使にもなった。遣唐使船の航路は7世紀には安全な **エ** をとっていたが、8世紀に^(b) 新羅との関係が悪化したため航路の変更を余儀なくされた。これにより、^(c) 遭難などで帰国できずに没する人々が多く発生した。一方で^(d) 渤海国との関係は良好で、貿易が盛んに行われた。

8世紀には、ほぼ20年に1回の割合で派遣されていた遣唐使もしだいに派遣回数が減少し、^(e) 894年に遣唐使の派遣が停止された。

問1 空欄ア・イに入る国名・皇帝諡号（おくりな）の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑧の中から一つ選びなさい。解答番号は、**19**。

- | | | | |
|---------|------|---------|------|
| ① ア 高句麗 | イ 文帝 | ② ア 高句麗 | イ 煬帝 |
| ③ ア 渤海 | イ 文帝 | ④ ア 渤海 | イ 煬帝 |
| ⑤ ア 百済 | イ 文帝 | ⑥ ア 百済 | イ 煬帝 |
| ⑦ ア 新羅 | イ 文帝 | ⑧ ア 新羅 | イ 煬帝 |

問2 下線部(a)に関連して、608年の遣隋使に随行した留学生または留学僧として誤っているものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**20**。

- | | | | |
|------|--------|--------|-----|
| ① 玄昉 | ② 高向玄理 | ③ 南淵請安 | ④ 旻 |
|------|--------|--------|-----|

問3 空欄ウ・エに入る人名・語句の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥の中から一つ選びなさい。解答番号は、**21**。

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| ① ウ 犬上御田鍬 | エ 南路 | ② ウ 犬上御田鍬 | エ 北路 |
| ③ ウ 犬上御田鍬 | エ 南島路 | ④ ウ 栗田真人 | エ 南路 |
| ⑤ ウ 栗田真人 | エ 北路 | ⑥ ウ 栗田真人 | エ 南島路 |

問4 下線部(b)に関連して、8世紀に日本と新羅との関係が悪化した理由について述べた文として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**22**。

- ① 冊封体制のもとで新羅と対等な関係を築こうとしたため。
- ② 白村江の戦いで唐と新羅の連合軍に敗れたため。
- ③ 日本が新羅を従来通り朝貢国として扱おうとしたため。
- ④ 藤原仲麻呂が新羅への遠征を実行したため。

問5 下線部(c)に関連して、「天の原ふりさけみれば春日なる三笠の山にいでし月かも」の歌を詠んだことでも知られる、入唐後、帰国できずに唐で没した人物の名として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**23**。

- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| ① 阿倍仲麻呂 | ② 吉備真備 | ③ 藤原清河 | ④ 山上憶良 |
|---------|--------|--------|--------|

問6 下線部(d)の渤海国の使節接遇に用いる、越前に置かれた外交施設として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**24**。

- | | | | |
|-------|-------|--------|------|
| ① 鴻臚館 | ② 大宰府 | ③ 松原客院 | ④ 倭館 |
|-------|-------|--------|------|

問7 下線部(e)に関連して、遣唐使派遣の停止について述べた文として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、25。

- ① 遣唐大使に任じられた菅原道真が醍醐天皇に提出した意見封事を受けて、遣唐使の派遣が停止された。
- ② 9世紀には遣唐使は派遣されておらず、今後も派遣の必要はないとして遣唐使の停止が決まった。
- ③ 唐の国力の衰退を受けて遣唐使の停止が討議されている最中に唐が滅亡したことから、遣唐使の派遣は停止された。
- ④ 九州での私貿易によって唐の文物を入手できたことも、遣唐使派遣停止の一因となった。

【3】 源平の争乱および鎌倉時代初期の政治について述べた次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(配点14点)

1177年に^(a)鹿ヶ谷の陰謀が起こるなど、反平氏の動きが表面化した。平清盛は1179年、後白河法皇を幽閉して院政を停止し、翌年には孫を として即位させた。これに対して、後白河法皇の子である以仁王は平氏追討の令旨を出して、 らとともに挙兵し、以後5年にわたる源平争乱の端緒を開いた。

以仁王の企ては失敗に終わるものの、源頼朝ら各地の源氏の挙兵につながった。平氏は態勢を立て直すために福原遷都を強行したが、^(b)貴族や南都・北嶺をはじめとする寺院勢力の反発を招いた。1181年棟梁である清盛の死没に、^(c)養和の大飢饉が重なり、平氏はいっそうの苦境に陥った。鎌倉で足場を固めた頼朝は軍を派遣し、1185年の で平氏を滅ぼした。

1192年に頼朝が征夷大將軍に任命されたことで、^(d)名実ともに鎌倉幕府が成立した。頼朝と御家人との主従関係を基礎として、幕府政治では頼朝による独裁が行われた。

頼朝の死後は、2代將軍 のもとで有力御家人による十三人の合議制がとられたが、すぐに御家人間の争闘が始まった。その後、 を退けた北条氏が勢力を伸ばし、執権の地位を得た。1219年に源氏の嫡流が断絶すると、1221年朝廷側は鎌倉幕府打倒をはかって兵を挙げたが、1か月程で鎮圧された。この承久の乱の結果、^(e)幕府の朝廷に対する優位が確立することになった。

問1 下線部(a)の鹿ヶ谷の陰謀で処罰された院近臣の名として正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、。

- ① 藤原清衡 ② 藤原忠通 ③ 藤原成親
④ 藤原信頼 ⑤ 藤原頼長

問2 空欄ア・イに入る天皇諡号（おくりな）・人名の組み合わせとして正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**27**。

- ① ア 安徳天皇 イ 源義仲 ② ア 安徳天皇 イ 源頼政
③ ア 高倉天皇 イ 源義仲 ④ ア 高倉天皇 イ 源頼政

問3 下線部(b)に関連して、1180年の南都焼打ちにより焼失した東大寺復興の大勧進職をつとめた人物の名として正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**28**。

- ① 運慶 ② 叡尊 ③ 良弁 ④ 重源 ⑤ 行基

問4 下線部(c)の養和の大飢饉についての記述がみられる『方丈記』の著者の名として正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、**29**。

- ① 鴨長明 ② 兼好法師 ③ 仙覚 ④ 藤原定家 ⑤ 唯円

問5 空欄ウ・エに入る語句・人名の組み合わせとして正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**30**。

- ① ウ 一の谷の戦い エ 源実朝 ② ウ 一の谷の戦い エ 源頼家
③ ウ 壇の浦の戦い エ 源実朝 ④ ウ 壇の浦の戦い エ 源頼家

問6 下線部(d)に関連して、1185年を鎌倉幕府が成立した年と考える学説もあるが、その説の根拠になる出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**31**。

- ① 源頼朝が軍事・警察・御家人の統率にあたる侍所を設置した。
- ② 源頼朝が後白河法皇から東国支配権を認められた。
- ③ 源頼朝が諸国に守護・地頭を設置する権限を認められた。
- ④ 源頼朝が奥州藤原氏を滅ぼして奥州平定を実現させた。

問7 下線部(e)に関連して、鎌倉幕府の朝廷に対する優位について述べた文として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**32**。

- ① 幕府は後堀河天皇を廃して、仲恭天皇を即位させた。
- ② 朝廷の監視などのために、北条時房・重時を初代六波羅探題に任じた。
- ③ 承久の乱後、畿内・西国の荘園・公領に対し幕府の力が及ぶ範囲が拡大した。
- ④ 公領で任命されていた国司は廃され、支配は守護に一任された。

【4】 江戸時代の文化について述べた次の文章（1）・（2）を読み、後の問いに答えなさい。（配点14点）

（1）^(a)世間の風俗を題材に描かれた絵画を浮世絵といい、アにかけて活躍し『見返り美人図』などで知られる絵師菱川師宣に始まるとされる。当初、浮世絵版画は墨一色で刷られていたが、18世紀中頃に一枚刷りの多色刷浮世絵版画である錦絵が創始されると、分業による量産で大きく発展し、寛政期には喜多川歌麿や東洲斎写楽らの人気作家が出て黄金期を迎えた。文化・文政期には、^(b)庶民の旅が一般化して、各地に名所が生まれ風景画が流行した。幕末には政治や世相などを風刺した浮世絵も制作された。

問1 下線部(a)に関連して、世間の風俗や物事を題材に風刺や皮肉をきかせた諧謔^{かいぎやく}の文学として、狂歌・川柳がある。天明期の狂歌「歌よみは下手^{へた}こそよけれ天地^{あめつち}の動き出^{いだ}してたまるものかは」（宿屋飯盛）は、往古の和歌集の有名な仮名序を茶化しているが、その和歌集として正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、33。

- ① 『万葉集』 ② 『古今和歌集』 ③ 『新古今和歌集』
④ 『山家集』 ⑤ 『金槐和歌集』

問2 空欄アに入る語句として正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。解答番号は、34。

- ① 宝暦から明和 ② 慶長から元和 ③ 安永から天明
④ 享保から元文 ⑤ 寛文から元禄

問3 下線部(b)に関連して、御蔭参りとはある寺社への集団参詣のことである。御蔭参りの対象となった寺社として正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

解答番号は、。

- ① 出雲大社 ② 伊勢神宮 ③ 金毘羅宮
④ 善光寺 ⑤ 成田不動

(2) 元禄時代には合理的な考え方が広がり、儒教・^(c)仏教の道徳的な見解にとらわれない立場から国文学の研究が進んだ。こうした^(d)元禄時代の古典研究から、18世紀の国学が発達した。京都伏見の神官荷田春満は国学発展の基礎を築き、春満に学んだ賀茂真淵はを著して、日本古来の精神(古道)の復活を主張した。真淵門下の本居宣長は、古道を体系づけ、国学の大成者となった。同じく真淵の門人である塙保己一は、幕府の援助を受けてを設立し、国史の講義などを行った。

文化・文政期には、本居宣長の死後の門人と自称する平田篤胤が、古代の純粋な神道への回帰を主張してを打ち立てた。

問4 下線部(c)に関連して、江戸時代の仏教について述べた文として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、。

- ① 三奉行中で最も格が高いとされた寺社奉行が、寺社・僧侶の監督にあたった。
② 紫衣事件後、寺院法度を制定して寺院・僧侶への統制を強化した。
③ 檀家がキリスト教徒ではないことを檀那寺に証明させる本末制度がとられた。
④ 沢庵宗彭が禅宗の一派である黄檗宗を開き、宇治に万福寺を開創した。

問5 下線部(d)に関連して、徳川光圀の命で『万葉代匠記』を完成させた人物の名として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、。

- ① 太宰春台 ② 北村季吟 ③ 契沖 ④ 戸田茂睡

問6 空欄イに入る書名として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**38**。

- ① 『群書類従』 ② 『国意考』 ③ 『玉勝間』 ④ 『古事記伝』

問7 空欄ウ・エに入る語句の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥の中から一つ選びなさい。解答番号は、**39**。

- ① ウ 聖堂学問所 エ 垂加神道 ② ウ 聖堂学問所 エ 復古神道
③ ウ 聖堂学問所 エ 唯一神道 ④ ウ 和学講談所 エ 垂加神道
⑤ ウ 和学講談所 エ 復古神道 ⑥ ウ 和学講談所 エ 唯一神道

【5】 江戸時代末期から明治時代初期の政治と社会について述べた次の文章を読み、後の問いに答えなさい。(配点22点)

江戸幕府15代将軍^(a)徳川慶喜は、の支援のもとで幕政改革を行なった。しかし、開国に伴う物価上昇など社会不安が高まるなかでといわれる民衆の狂乱が発生し、その混乱を利用して倒幕運動が活発化していった。1867年10月倒幕派の機先を制し、慶喜は大政奉還の上表を朝廷に提出した。12月9日、王政復古の号令が下って新政府が樹立され、江戸幕府260年の歴史に終止符が打たれた。その夜開かれたにおいて慶喜に辞官納地が命じられると、旧幕府側と新政府の対立が決定的となった。旧幕府軍と新政府軍は1868年1月鳥羽・伏見で衝突した。

新政府は、^(b)戊辰戦争中の1868年3月に国政の基本方針を明らかにし、また^(c)神道国教化政策の一環として神仏分離令を出した。さらに、閏4月には政体書を公布してに権力を集中した政府組織を整備した。しかし、依然として諸藩では旧大名による統治が続いていたことから、^(d)新政府は中央集権体制確立のためにさまざまな政策を実施した。

新政府は政治体制の整備と並行して近代化を進めた。また、^(e)富国強兵を実現するために、1870年に^(f)殖産興業政策の中心官庁として^(g)工部省を設置し、近代産業の育成をはかった。^(h)近代化を進めるために西洋の文化や技術などを積極的に吸収しようとした政府の方針により、⁽ⁱ⁾人々の生活にも文明開化の風潮が広がった。

問1 下線部(a)の徳川慶喜について述べた文として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、。

- ① 水戸藩主徳川家斉のもとに生まれたが、のちに一橋家を相続した。
- ② 将軍継嗣問題の際、島津斉彬ら雄藩藩主により将軍の後継者として推された。
- ③ 井伊直弼による蛮社の獄の際には、隠居のうえで謹慎処分を受けた。
- ④ 文久の改革の際には、松平慶永・松平容保とともに将軍後見職についた。

問2 空欄ア・イに入る国名・語句の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑧の中から一つ選びなさい。解答番号は、**41**。

- ① ア イギリス イ ええじゃないか ② ア イギリス イ 風流踊り
③ ア フランス イ ええじゃないか ④ ア フランス イ 風流踊り
⑤ ア アメリカ イ ええじゃないか ⑥ ア アメリカ イ 風流踊り
⑦ ア オランダ イ ええじゃないか ⑧ ア オランダ イ 風流踊り

問3 空欄ウ・エに入る語句の組み合わせとして正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**42**。

- ① ウ 小御所会議 エ 神祇官
② ウ 小御所会議 エ 太政官
③ ウ 諸侯会議 エ 神祇官
④ ウ 諸侯会議 エ 太政官

問4 下線部(b)の戊辰戦争について述べた次の文Ⅰ～Ⅲを古いものから年代順に並べるとき、配列順として正しいものを、下の①～⑥の中から一つ選びなさい。解答番号は、**43**。

- Ⅰ 徳川家の勝海舟と新政府側の西郷隆盛の会見により江戸城が無血開城された。
Ⅱ 奥羽越列藩同盟の拠点とみられた会津若松城が落城した。
Ⅲ 旧幕府軍を率いた榎本武揚らが五稜郭で抗戦したが、敗れた。

- ① Ⅰ → Ⅱ → Ⅲ ② Ⅰ → Ⅲ → Ⅱ ③ Ⅱ → Ⅰ → Ⅲ
④ Ⅱ → Ⅲ → Ⅰ ⑤ Ⅲ → Ⅰ → Ⅱ ⑥ Ⅲ → Ⅱ → Ⅰ

問5 下線部(c)に関連して、中山みきが創始した教派神道の一つとして正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**44**。

- ① 黒住教 ② 金光教 ③ 神道禊教 ④ 天理教

問6 下線部(d)に関連して、内務大臣山県有朋の下で中央集権的な市制・町村制（1888年制定）の成立に尽力したお雇い外国人の名として正しいものを、次の①～⑥の中から一つ選びなさい。解答番号は、**45**。

- ① グナイスト ② シュタイン ③ ボアソナード
④ モッセ ⑤ ロエスレル ⑥ フルベッキ

問7 下線部(e)に関連して、兵制について述べた文として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**46**。

- ① 廃藩置県後には、各地に設けた鎮台に内乱や一揆に備えて兵が配置された。
② 軍人勅諭中の「血税」の文言への誤解から、血税一揆が頻発した。
③ 徴兵令により、身分にかかわらず満18歳以上の男性に兵役が課された。
④ 徴兵令では、代人料15円を納めた者は徴兵が免除されることになった。

問8 下線部(f)の殖産興業政策について述べた文として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。解答番号は、**47**。

- ① 第1回内国勸業博覧会が開催され、豊田佐吉によるガラ紡の改良機が最高賞である鳳紋賞牌を受賞した。
② 新貨条例により銀本位制のもとで、十進法、円・銭・厘の単位が採用された。
③ 北海道に開拓使を置いて、アメリカ式の大農場制度が導入された。
④ 長崎造船所が三井に払い下げられるなど、官営事業が民間に払い下げられた。

